

幼稚園だより

6月号

令和6年 5月31日

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余

はじける笑顔の中に

園長 竹下 佳余

春の花々が明るく咲き誇った風景から、緑濃い景色へと移り変わる6月です。春から初夏、梅雨と季節の移り変わりを体感するのによい時季ともいえます。子供たちは、園庭での遊びや野菜などの栽培を通して、また、季節にちなんだ創作活動を通して、日々、自然環境の変化を感じとっていることと思います。梅雨時は、雨が続きたりじめじめして蒸し暑かったりと、マイナスなイメージもありますが、この時期ならではの発見がきっとあるはずです。子供たちと一緒に見付けていきたいと思っています。

先日の親子遠足では、大変お世話になりました。お家の方に寄り添っていただけ、子供たちは安心して遠足を楽しむことができました。広い空間でのびのび活動する中で、子供たちのはじける笑顔がとても印象的でした。いるか組さんは、小さい子の手を引いたり、迷子にならないように気を配ったりと大活躍。滑り台エリアでのアスレチック的な遊具では、途中であきらめることなく丸太やスロープを渡る、たくましいこあら組さんとひよこ組さんの姿をたくさん見かけました。子供たちの新たな一面に、豊かな可能性を感じた一日でした。

新年度がスタートして3か月目。子供たちは、園生活のリズムに少しずつ慣れてきました。今月も、豊かな人間関係の中で、子供たちが楽しく、安心して遊びや生活ができるよう保育を進めてまいります。

今月の保育のねらい

《3歳児：ひよこ組》

- ・教師や友達と一緒に、好きな遊びを十分に楽しむ。
- ・水や泥の感触に親しみ、心地よさを知る。

《4歳児：こあら組》

- ・友達との関わりを楽しみながら、いろいろなことに興味をもって遊ぶ。
- ・水遊びやプール遊びに参加し、水に親しんだり、開放感を味わったりする。

《5歳児：いるか組》

- ・思ったことや考えたことを出し合いながら、友達との遊びを進める楽しさを味わう。
- ・梅雨の自然に興味や関心を持ち、調べたり考えてみたりしようとする。

